

第 6 回議会報告会概要報告一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1 班	5 月 31 日(金)	19:00～21:00	鯨ヶ崎地区集会所 ODENSE 2 (ドーム型)	1 8 名
	6 月 3 日(月)	19:00～20:50	崎山公民館	1 4 名
	6 月 4 日(火)	19:00～21:00	新里福祉センター	9 名
2 班	5 月 31 日(金)	19:00～20:30	花輪農村文化伝承館	7 名
	6 月 3 日(月)	19:00～20:30	弘川地区会館	7 名
3 班	5 月 31 日(金)	19:00～21:00	宮古市役所	1 7 名
	6 月 3 日(月)	19:00～20:15	重茂公民館	1 1 名
	6 月 4 日(火)	19:00～20:30	千徳公民館	1 5 名
4 班	6 月 3 日(月)	19:00～20:30	磯鶏公民館	2 2 名
	6 月 4 日(火)	19:00～20:30	山口公民館	1 2 名
5 班	6 月 3 日(月)	19:00～21:00	グリーンピア三陸みやこ応急仮設 住宅集会場 (多目的グラウンド内)	2 6 名
	6 月 4 日(火)	19:00～21:00	川井保健センター	1 3 名
計			1 2 ヲ所	1 7 1 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 5 月 31 日（金） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：鉾ヶ崎地区集会所 ODENSE 2	18 名	〔1 班〕 田 中 尚 古 舘 章 秀 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 高 橋 秀 正 落 合 久 三
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
議員定数は市民が決めるべきでは。 議員定数の報告書は世論を誘導するのではないかな。	議会基本条例で議員定数について、市民からではなく自ら検討するよう明記している。昨年の議会報告会で意見を聞き、議会内の会派ごとに検討し、その結果、次回改選期においては現行定数 28 名が多数であったことから議会運営委員会で決定したものだ。 市民から定数について減という声が多数あれば改めて検討することになる。報告会は各々会派の検討結果を報告書としてまとめ、説明するものだ。	
被災地では増税しないということだったが。消費税の請願の判断（不採択）はどうだったのか。被災者の再建に支障が出る。被災者への配慮は。意見書を出すべき。（増税反対）	（要望）	
鉾ヶ崎の人口が減っている。事業が進まない。	6 月定例会で質疑している。区画整理事業より崎山宮古線の街路事業の方が早かった。	
検討会の意見が全て否定された。何の為の検討会だったのか。	皆さんと同様に議員も心配している。 スピードを上げるように対応したい。	
早く再建したい。	（要望）	
仕事がない。意欲があっても仕事がない。	（要望）	
災害公営住宅がいつ、どこに建つのか分からない。	（意見）	
防潮堤は早くできる予定だったが、遅くなっている。不満です。県に要望してほしい。	防潮堤の位置がきまらないために遅くなっているのと、用地の確保が区画整理事業の中で確保しように変更になったためです。（用地買収からの変更）	
事務所（仕事）と住宅が被災したが、仕事をするのは商売上、元の場所と思うが換地がどこになるのか分からない。住宅は別の場所と考えるが土地がない。仕事場（商売）と住宅が一緒の人を優先してほしい。	（意見）	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
震災前、公民館が予定されていた。できるとは思うが、人が集まる場所に本と親しめるようにしてほしいので、公民館に図書館機能を持たせてほしい。	(要望)
以前、沿岸に県の施設として障害者のリハビリ施設ができるよう報告会でお話をした。沿岸地区から内陸へリハビリに行くのは大変です。障害を持つ子どもは話せない、歩けない、食べられない。療育センターでも大変です。請願の方法等教えてほしい。	以前に宮古地域でリハビリ施設が設置できないか検討した経緯がある。運営すると年間 5,000 万円の赤字になることと、民間病院がリハビリを実施するとのことから設置に至っていない。 大人のリハビリが多いと認識していたが、障害を持つ子どもたちのリハビリも大切であると再認識をした。
区画整理事業を早く、建てられる場所の表示だけでもあれば希望が持てる。	(要望)
鍬ヶ崎小学校も複式学級になる。子どもたちのために対応を願う。	(要望)
人口流出が進む。産業を育てるべき。鍬ヶ崎は漁業の振興だが、産地間競争もある。廻来船の受け入れ体制、処理体制、冷凍能力がない。他から誘致をすべき。藤原埠頭用地を水産で使えるように。	(要望)
陸中海岸国立公園の浄土ヶ浜で松が切られた。枯れていないのに切られたが問題だ。	
自宅は高台にあったが、大杉神社に避難した。避難道整備後 1 週間後であったが、整備したがというが狭く木の根などで大変だった。拡幅をお願いしたい。また、高い所にある家まで道路を広くできないか。鍬ヶ崎を住みよいまちづくりのために、被災区域以外も一体的に整備してほしい。	私有地なので、整備はできない。
残った地域も一緒に考えるべきだ。	(意見)
熊野神社脇の避難道は被災後も通行（利用）が多かった。	(意見)
街路灯がない。	ルールとして町内、自治会から要望することになっている。要望してください。
鍬ヶ崎地区で被災時に、どのような避難をしたのか。リヤカー等で高齢者を避難させることができたのか検証すべき。	町内で亡くなった人は町内活動に関心がない人が多かった。避難訓練に参加しない人、耳が聞こえない人。普段から社会・地域になじむ必要があると思う。(古舘さん回答)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 3 日（月） 19 時 00 分～20 時 50 分 会場：崎山公民館	14 名	〔1 班〕 田 中 尚 古 舘 章 秀 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 高 橋 秀 正 落 合 久 三
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
ブルーチャレンジの説明を。 申請を取り下げた理由は。	新しいまちづくりの中で、企業誘致としてバイオマスで発電、水素を取り出すことと廃熱利用をするためのものだ。現在、実証プラントはあるが、商業プラントとして赤前地区に誘致したいとするものだ。特に水素は燃料電池自動車の導入を見越したものだ。 申請を取り下げたのは、補助要件の中に災害廃棄物を焼却することが入っていたため。セシウム等の放射能の問題もあり、申請を取り下げ、別の補助メニューを探している状況だ。	
復興のテンポが遅い。地元の意見を聞いていない。行政サイドの計画だ。また、山田町のようなことのないよう監査機能を充実してほしい。	(意見)	
大付の高台移転地の排水ルートが納得いかない。側溝の流れが悪いので市に言ったが返事がない。日出島の側溝が津波の土砂で埋まっている。	議員と市の担当で現地を見て善処する。	
崎山貝塚遺跡の両側に青線があり排水が流れていて、ところどころよどみがあり、悪臭がする。	議員と市の担当で現地を見て善処する。	
合併浄化槽工事を進めるように営業してほしい。	(要望)	
選挙公営にしないことは評価する。立候補する方は、それぞれ思いを持って出馬するのだから自分で出すべき。	(意見)	
政務活動費はいくらで、何につかわれているのか。	年間 15 万円支給されていて、政策の勉強のため視察をしたり講演を聞いたり図書を購入したりしており、1 円単位まで書いて報告している。	
宿や中の浜の側溝の工事をしたところは土砂もなくなり、側溝に蓋もついた。しかし多くのところがそのままになっている。	現地を確認する。	
津波で住宅を流された方へは、いくら補助金等があるのか。	再建支援金等が 600 万円、県産材等使用が 140 万円、バリアフリー対応が 90 万円、利子補給 250 万円、浸水地の住宅改善 250 万円ですべて利用できれば 1,330 万円になるが、限度額があつたりで全額もらえるとは限らない。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
ポスターが貼りっぱなしになっている。何とかならないのか。規制できないのか。(国の問題ではあるが)	終わったら剥がすことが大事だ。政党が責任を持って対処すべきと思う。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 4 日（火） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：新里福祉センター	9 名	〔1 班〕 田 中 尚 古 舘 章 秀 茂 市 敏 之 松 本 尚 美 高 橋 秀 正 落 合 久 三
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
公営選挙の費用は。	ポスター、車両、運転手等の経費で一人当たり 80～100 万円程だ。	
新里地区にタクシーがない。高齢者は病院（診療所）に行けない。選挙の投票にも行けない。持続可能な足の確保を願う。	企画課で過疎の交通のあり方を検討している。川井地区はバス事業に約 650 万円の費用を要している。	
要望していた茂市橋の歩道設置は、いつ完成の見込みか。	新国道が 10 年後に完成する。そのような状況下では難しい。	
国道 106 号の整備は、いつ頃着工になるのか。	現在、測量中だ。	
災害公営住宅の整備の状況は。	地権者の問題があり遅れているのは確かだ。近内の雇用促進住宅を買収し、改修して災害公営住宅とするところだ。	
先に計画のあった短大団地は、今どのようになっているのか。	県の住宅供給公社から市に取得の要請があったが断った。現在は、陸中建設の所有だ。工業専用地域に用途変更になっているので、住宅用地にはできない。	
住宅再建支援はどうなっているのか。	全体で 1,330 万円。ベースで 600 万円となっている。利子補給、地域木材利用等メニューがある。	
田老の復旧が遅れている理由は。	防潮堤の見直しに時間がかかった。防災集団移転事業の用地取得、区画整理地では本換地まで時間を要する。	
三陸沿岸道路の残土を住宅造成地に転用できないか。	宅地造成地の設計ができていないので、土量の把握ができない。	
コンクリートがらの再利用は。	民間事業者が生コンに利用できないか試験を実施している。結果が良ければ利用が進むと思われる。現状は路盤材で利用している。	
ブルーチャレンジ事業とは。	木質バイオマス事業で、発電、熱、水素を造る施設だ。復興交付金事業では建設費が認められなかったなので、別の補助金を探している状況だ。	
治山事業として行った藁目公民館裏の法面からの排水路がない。市では、県事業と対応してくれないが対応願う。	現地を確認し、対応する。	
選挙公営制度を宮古市だけ導入していない理由は。	議員にも震災後ということもあり遠慮している。前回の報告会では多くの人が現状でいいのではとの雰囲気だった。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
市民文化会館は現地再建か。駐車場が無いので移転したらいいのでは。	現在、復旧設計も終わり今年度発注となる。完成までに1年くらいかかる予定。場所については現位置で復旧することが決定している。
野球場を早く造ってほしい。	計画が進んでいない。
学校統合の基本方針はできているのか。統合後の校舎（未利用施設）の活用は。	策定済みで、川井地区1校、新里地区1校に統合することになる。重茂地区も1校に統合する。子どもたちの通学時間が長くなり負担となることが課題であり、統合がいいのかどうか考える必要があると思う。
市庁舎（本庁舎）の移転はどうなっているか。	用地取得について調査中です。敷地については復興交付金で確保できるが、問題は庁舎建設費です。合併特例債の枠は残り70億円程度で50億円といわれる財源を使っていいのか課題でだ。駅を中心としたまちづくりを考えている。J Rの利用促進も含む。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 5 月 31 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：花輪農村文化伝承館	7 名	〔2 班〕 坂 下 正 明 竹 花 邦 彦 高屋敷 吉 蔵 加 藤 俊 郎 近 江 勝 定
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
J R 山田線鉄道の復旧と利用促進を。	早期復旧が課題だ。線路のかさ上げを含めて検討している。法の協のかさ上げ計画もある。費用負担どうするかが課題だ。J R がいつ工事に入るか明言しない。利用者は年々低減しており促進策も検討し提言したい。	
病院にかからない人の国保税を下げる等医療費を下げる方策を考えたかどうか。医療費を下げるために健康の喜びを与えるような方策を考えたかどうか。	市当局に伝える。	
健診を受けて異常がない人や元気な高齢者を表賞するなどしたらどうか。	市当局に伝える。	
国保税を下げたようだがどうしてか。	見込みより医療費がかからなかった。	
医療費抑制の施策は。	健康診断受診率を上げることが施策と考えているが、なかなか上がらない。	
川向、田鎖地区の側溝の整備を願いたい。	前回もその要望があり自治会長さんには市当局から回答がいつている。	
長沢川の増水対策を願いたい。	これも前回の議会報告会で要望がありポンプの設置も含めて対策をとるとの回答が市当局から自治会長には届いていると思う。	
大谷地、ラントの沢の道路改良を願いたい。	少しずつだが改良は進んでいる。25 年度も 600 m 改良工事が行われる。	
国保会計の基金が溜まった原因はなにか。	平成 22 年度にも国保税を引き下げたが医療費の伸びが見込みより少なかったので基金が増えた。それで国保税を今年度も下げた。	
高齢化率が高くなり医療費が減ると思えない。見込みの立て方に問題がある。	その点は課題がある。	
被災者の医療費の免除はいつまでか。	一部負担金免除は今のところは今年中だ。	
畑仕事をしている人は通院しない方が多い。楽しみがあれば通院しないと思う。	（意見）	
宮古の合言葉で G N P（元気・長生き・ポックリ）の宣伝をしたらどうか。	働く意欲、自分の役割の自覚、やり甲斐があればよいと思う。地区で企画も必要ではないか。	
ブルーチャレンジ事業は盛り上がりには欠け不安だ。	放射能汚染されたがれき処理が条件だったので宮古市は補助申請を取り下げた。赤前地区には木質バイオマス発電設置予定だ。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 3 日（月） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：弘川地区会館	7 名	〔2 班〕 坂 下 正 明 竹 花 邦 彦 高屋敷 吉 蔵 加 藤 俊 郎 近 江 勝 定
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
議員は今 27 名、定数から 1 減だが支障はないか。	あまり感じないが、常任委員会が 4 つあるが 6 名の委員だと議論が少なく良いとは言えない、定数については常任委員会の機能上 28 名は多いとは言えない。また、震災から復興するために、各地域からの意見が多く反映されるよう現行通りの定数とした。	
市長選挙、市議補選ともに無競争だと投票なしか。	そのとおりです。	
国保税減税はありがたいが年金からの天引きは厳しい。他の方法を考えてほしい。	国の方針で 65 歳以上は年金から天引きだ。滞納も増えており、確実の収納できる制度だ。気持ちは理解できる。	
国保税は自治体によって税率が違うようだが宮古市はどの位置か。また県に一本化されるのか。	他市町村と比べれば低い。平成 27 年度頃には県に一本化になるか、税率はどうなるか、はっきりすると思う。	
県に一本化して次に国に統一するのか。	各市町村国保はそのように要望はしてきた。保険料の格差解消も問題がある。	
岩手県は国保税も医療費も低いから安くなるのか。	現時点では分からない。	
タラソテラピー施設のおかげで腰痛解消していたが無くなって困っている、再開してほしい。	タラソ施設は廃止となる、震災で建物だけでなく機械類や設備などが被災した。シーアリーナを利用してほしい。	
仮設住宅にいる人を早く一軒家に住まわしてほしい。	公営住宅を早期完成し移転を我々も願っている。もう少し待ってほしい。市の中心部に入居希望が多いが、近内に今年度、崎山、高浜は少し遅れる。自立再建は土地がなく大変だ。市の計画は順調だ、と聞いている。	
空いている仮設住宅への入居を断られたが、どうすればいいか。	最近では世帯分離をして入居許可が緩和されてきている、民生委員に相談してほしい。	
私は個人で家を建築したいが埋文調査等で進めないでいる。どうにかならないか。	埋蔵文化財調査については市ではどうにもならないようだ。	
土地買収は進んでいるか。	相続未登記や財産区管理の土地など難航している所もあると聞くが大方は順調のようだ。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
これからは規制緩和が必要だ。難題を解決しないと前に進まないのではないか。	その必要は感じている。
区画、施設も決まっていない。法の脇へ移転したいができない。6月末予定の相談会はいつ始まるのか。	予定どおり6月中にあると思う。法の脇も含めて12戸移転のための予算はついている。今年度中に工事は終わるので、その後には家を建てられるようになる。相談会については予定どおり行うよう市当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 5 月 31 日（金） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：宮古市役所	17 名	〔3 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 伊 藤 清 内 館 勝 則 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
選挙に金がかかるという話だが、市長選・国政選挙を同時に行えば費用が削減になるのではないか。	日程的に合致するのであれば可能だが、時期的に市長の任期が 7 月 3 日で、参議院議員選挙が 7 月 21 日投票の予定なので無理がある。	
災害公営住宅の入居アンケートをとったようだが一方では、793 戸の建設予定で建設の見通しがたっていないようだがどうなっているのか。	平成 27 年度までに入居できるような計画となっている。	
5 月 1 日号の広報を見たが、現在募集しているのは何戸あるのか。	5 月 1 日号の広報で周知のとおり、入居希望戸数 793 戸に対し、建設予定も 793 戸となっている。	
つつじが丘の仮設住宅で空き部屋が 1 戸あるが、入居者が去年の 2 月に亡くなくてもそのままになっている。市役所に荷物を片付けて新入居者に明け渡してほしいと話して前に進まない。	内容について担当課に伝える。	
茂市の仮設住宅には何戸入居しているのか。	60 戸あるが、ボランティアや応援の県職員等が入っており、空きはない。	
向町には集会所がない。震災前は分団屯所を使っていたが、今は使用できる状態にない。早く 2 階を改修整備して使えるようにしてほしい。 大通り会館も使えないので使えるようにしてほしい。	市当局に伝える。	
宮町 3 丁目のことだが、子どもが遊ぶときは、八幡公園に行くが、犬の糞があり不快な思いをしている。犬の糞の問題はマナーの問題だが、全市的な問題にもなっているので、市として広報での呼びかけ等対策を望む。	市当局に伝える。	
宮町一丁目の 106 号沿いの歩道で、のぼり旗が通行の妨げになっていて危険だ。対策を望む。 また、横断歩道の旗が無くなる。現在 1 本しかない。どうかしてほしい。	道路管理者である県に対し周辺業者へ注意を促すよう働きかけを行う。（現地確認済み）	
黒田町の側溝が破損しており、先日つまずいて顔面負傷で血だらけになり救急車で運ばれた。 1 回だけでなく、転倒事故もおきているので道路管理者として整備してほしい。市にかけあったが予算がないとかで取り合ってくれない。危険な状況なので整備してほしい。	適切な対応をする担当課へ伝える。（現地確認済み）	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
個人の土地を無償で借地し、2年間という約束で仮設住宅を建設したが、2年を経過した後のことが何もない。2年を経過した後は有償になると思うがどうなのか。地権者にきちんと説明すべきではないか。	担当課に伝える。
水門の連絡道路と藤原側からの西道路の計画はどうなっているか。	西道路の関係はまだ決まっていない。
藤原地区の避難路は、J Rの鉄道がありスムーズに避難できない状況にある。今後、鉄道の復旧がなされるのか。	J Rの鉄道復旧は残念ながら未定です。沿線市町で要望活動を行っているところです。
復旧に時間を要しているようだが、復興のスピードを上げるため、民間企業を活用すべきだ。職員の応援云々もいいが専門職員の活用という面で即戦力になると思う。	意見として市当局に伝える。
宮古病院の駐車場に行く連絡路が冬場に凍結し滑って危険である。	市当局を通じて、県に要望する。また、宮古病院にも直接要望する。
二中のグラウンドに仮設住宅が建っているが生徒はどこで運動しているのか。	病院向かいの広場を利用しています。
崎山・国民休暇村線が狭隘で通勤、通学時に歩道がないため危険だ。なんとかしてほしい。	市道には同じような危険箇所が多くある。担当課に要望として伝える。
78歳になるが、今までアイオン・カサリン台風、チリ地震。そして、3.11の東日本大震災など災害を経験してきた。30年代までは、宮古市の人口は7万人台に増えた。これから10年後は4万人台になるのは目に見えている。市では、人口減少問題を今後どのように考えているのか。組織がしっかりしていないとますます衰退していく。宮古市民、議員が宮古市のためどうあればいいか良く考えてやってほしい。	(意見)
ガレキ処理を県内で行うべきだ。県外で処理すれば財源が県外に流出してしまう。良く考えるべきだ。	意見として担当課に伝える。
津波警報が出された場合、駅前のイベント広場を緊急時には車で通行できるように出来ないか。	駅前広場は構造上通行できる状況にない。緊急時に通行できるようにするには、改修等工事費がかかる。趣旨は理解するが、意見として市当局に伝える。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
防災無線が聞こえない。舟場付近は特に聞こえないので改善してほしい。 関連で、つつじが丘公園の防災無線にカラスが巣をかけたので消防署に連絡したら危機管理課が来て、「カラスが卵を抱いているので、ふ化するまで近づかないよう注意してください。」との指導があった。何が危機管理なのか疑問な行政指導だ。カラスの卵が大事なのか、人間の命が重要なのか疑問を呈する理解できない一面だった。鳥獣保護も大切だが優先順位があるのではないか。	防災無線が聞こえないことは問題だ。担当課に改善するよう伝える。
舟場の避難所は宮古小学校になっている。行くのが大変なので中間に避難タワーをつくってほしい。まちづくり検討会でも、山本市長にお願いしているが、議員の方からも地域住民の要望として働きかけてほしい。	要望として市当局に伝える。
向町は大潮になると坂本眼科付近まで浸水する。早く対策を講じてほしい。このことは前々から言っているが善処がみられない。	要望として市当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 3 日（月） 19 時 00 分～20 時 15 分 会場：重茂公民館	11 名	〔3 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 伊 藤 清 内 館 勝 則 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
普段感じていることだが、遠野市では観光に力を入れているが、宮古はやる気がない。 サンマ船に乗って仕事をしているが、北海道の港では、入港、水揚げを歓迎してくれる。そこでは、市長が先頭になって誘致活動を行っている。 昔は、鉾ヶ崎には、造船場や無線屋などが数社あったが、津波被害などで無くなっている。宮古市は魚市場の待遇が悪いため、船が宮古を避けて、他の魚市場に行っているため、宮古の漁港は疲弊してきている。この問題を解決しないことには発展は望めない。	宮古市も以前は、150 万人位観光客があったが、今は半分位に減少している。商業観光課も色々と観光面に力を入れている。	
田老地区は、宮古病院に 10 分から 15 分で通院できるのに、診療所がある。重茂は医療機関まで遠い。宮古市全体のバランスを考えたまちづくりを進めてほしい。	（意見）	
仮設住宅に空き部屋がある。抽選でもいいので希望者に使わせてほしい。音部地区では、子どもが結婚したため 1 部屋を増やしてもらった。臨機応変な対応を。	仮設住宅は、県管理なので市役所が早く対応できない状況にあることは認識しているが、状況に応じたスピード感のある対応することが必要だ。市当局に伝えておく。	
ドクターヘリは、現在は重茂中学校に降りているが、千鵜小学校なども指定してほしい。	市当局に伝える。	
千徳大橋が完成して、渋滞が解消され大変ありがたい。重茂半島線の早期整備を望む。	市当局に伝える。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 4 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：千徳公民館	15 名	〔3 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 伊 藤 清 内 館 勝 則 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
宮町の横断歩道での死亡事故が多発している。押ボタン式信号機を設置してもらいたい。この場所は、宮町の自治会館もあり多数の住民が往来している。交通事故がなくなるよう、早期の設置をお願いします。	要望の件については、県公安委員会の所管であるが、現地を見て要望など行う。	
市内の災害公営住宅はどこに建設するのか。	市建設は、黒田町、和見町、近内雇用促進住宅を改築、西ヶ丘、山口団地内、県建設は、本町、上鼻、西町（宮町：敷地買取型）となる。	
山田町出身で、現在は宮古市在住であるが、宮古の災害公営住宅に入居できるのか。宮古市民が優先されるのか。	現在、宮古市に住所があり、宮古市民であるので問題はない。	
宮古市民文化会館の復旧をそろそろ着工してもいいのではないかな。	市民文化会館の復旧は平成 26 年 12 月頃オープンする計画になっている。当初は、25 年度中を目標にしていたがずれ込む予定だ。	
藤原埠頭のガレキ処理で、石川ドライブインの所から関係者しか通行できない。一般市民も通行できるようにしてほしい。	来年度中にガレキ処理も終わり、更に防潮堤も前出しで建設する予定になっていることから、それが終了すれば一般の方も出入りできると思う。	
宮古の西側、千徳方面には、約 9,000 人の市民がいるが病院がない。高齢化率も年々高まり医療需要が高まってきている中、往診ができるような病院を誘致してもらいたい。その際、開業医の方が土地などを購入する際は、市が支援をするなど考えてほしい。	医師会の方々に情報提供だけ是可以できると思う。	
三陸復興公園とは何か。国定公園としては、陸中海岸の名前が好きだ。どうしてこうなったのか。	三陸海岸の観光地の歩道が津波によって壊れているので、これを国で復旧するというものでつけたもの。復旧が終われば、元の陸中海岸となると思う。	
震災した野球場や陸上競技場の建設について考えてもらいたい。赤前地区の活用はどのように考えているのか。宮古市を含め、下閉伊地区のスポーツ施設は早急に建設の検討を願いたい。	公共施設の再配置計画を策定中で、適切な設置整備を働きかける。	
J R の敷地に庁舎を建設するのか。その他の公共施設を持っていくのか慎重に。私自身、J R の敷地に庁舎を建てることは反対。理由は狭いからという意見です。	今は具体的にはなっていないが、公共施設の配置計画に基づいて検討され整備されていくと思う。意見として市当局に伝える。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 3 日（月） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：磯鷄公民館	22 名	〔4 班〕 横 田 有 平 工 藤 小百合 北 村 進 佐々木 重 勝 崎 尾 誠
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
市営住宅の家賃滞納額は約 8,200 万円を超える。今後、災害公営住宅ができるが、滞納が増えることが懸念され市民の負担が増えるのではないか。その対策について議会ではどんな審議がなされたのか。	市当局はいろいろな手段で個々に訪問するなど督促している。議会決算委員会のたびに住宅の家賃だけではなく水道料などについても、議論している。	
通常に家賃を払える人が滞納している実態があるのではないか。地方自治法では、滞納について不納欠損の処理をしている。その不納欠損を知ってしまうと払わなくても済む。そういうことがないようにしてほしい。	住宅の家賃や利用料等、市民の公平を期さなければならぬ。 不納欠損は、死亡または行方不明の場合など債権の回収が困難なものについては不納欠損をしている。支払い能力がある方には、厳しく対応している。	
仮設住宅には家賃がないが、今後建設される災害公営住宅での滞納が発生しないように対応してほしい。	（意見）	
選挙公営制度は市だけがやれる制度なのか。町村はどうなのか。	選挙公営制度は、町村でもできる制度だが、範囲が限られている。選挙用はがきについては、公費負担だ。	
県内 13 市の中で宮古市だけがやっていないことを強調し、あたかも宮古市は遅れているような印象を与える。町村も調査し一緒に提示すべきだ。	宮古市は市であることから、県内他市と比較するのは当然である。	
世の中は金のかからない選挙をやりたいという風潮だ。志のある方は、公営制度を導入することによって、出やすくなる。金がない人は出にくいから平等ではない。公営制度を導入して出やすい環境をつくるべきだ	（意見）	
導入すべきでないに賛成だ。時期が悪い。被災地は復旧復興途上であり、落ち着いてからもう一度考えるべきだ。	（意見）	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員は当事者なので、減らすことに賛成するはずがない。人口減少と財政の面からも考えるべきだ。定数を減らして、公営制度を導入すべきだ。	前回の議会報告会では、定数を減らす意見は少なかった。また、公営化については、導入すべきだという意見もあった。 合併して広くなったが、人口は確実に減少している。人口、面積、地域の声を活かすなど、様々な角度から考えていかなければならない。前回の報告会でも、両方の意見はあった それらの意見を参考に、議会としては、定数を減らさず、震災の復興に全力で取り組んでいくこととし、公費負担は現行のままと確認したところだ。
新聞によると、閉伊川河口から磯鶏地区の防潮堤を2線堤でつくる。本年度末に着工し2015年に完成予定と聞いた。難しいのではないかと思います。住民のために、早期につくってほしい。 現在ある防潮堤も利用するようだが、門扉（出入口）はどうなるのか。	今年度中に発注して27年度中までには完成させたいと県の説明である。今ある防潮堤はそのまま活用する。 新しい防潮堤の道路・路線もまだ示されていない。道路を含めどのようなになるか。6月中に地域住民へ説明する予定と聞いている。道路や門扉については、会社や地域の住民の声を聞いて進める。
ブルーチャレンジプロジェクトは、30億円の補助金は申請したものの、放射性汚染の木質を焼却する条件に反対したために取り下げたのか。がれきを燃やさず、本来の間伐材などを利用するということか。	30億円の補助だったが申請を取り下げた。 メインとなるブルータワーで、市内を含め県内の放射能汚染されたしいたけのほだ木を1万トン処理する条件となったために、別の補助メニューを検討している。
他の市町村からきている応援職員の住宅は確保されているか。	応援職員については、民間のアパートや空き室の多い松山の仮設住宅を利用している。市の職員と同じ扱い。
社協にきているボランティアは個人の負担が大きいのでは。応援職員との格差がある。	職員については、議会としても取り上げることはできるが、社協については難しい。
河南中学校の橋があるところから短大方面の道路の舗装が波を打っている、冬場は凍結しスリップして危険。通学路でもあるので補修を要望する。	県に伝える。
閉伊川水門の道路は作業道か。4メートルの道路では、津軽石の水門のように使えない。6メートルになったことは良いことだ。	当初は作業車が通る道路だった。水門の上に県が6メートルの管理橋をつくる。取り付け道路は県が4メートル、宮古市が2メートル分を負担し、6メートルとなり車両も通行できる。
通称「3地割」を開発してほしい。「トンネルがあるので開発できない」と聞いた。磯鶏の森林組合の山。本当に開発できないのかどうか。	開発はできないと聞いているが、確認したい。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
八木沢川の水が流れやすいように、毎年支障木を伐採した方が、自然災害の危険から守ることができる。	河川管理者に伝える。
西道路は避難道路にもなるのか。	そのようになる。
短大周辺の土地は、住宅公社が解散し陸中建設の所有の土地となっているが、開発はどうするのか。	民間会社の所有の土地なので、市としては関与できない。
生活保護を受けて、スナックなどにいって一月に数万円も使っていると聞いた。	担当課に伝える。
仮設の入居者の中に、高齢者をいじめている者がいると聞いている。	仮設住宅への見守りを強めるように市当局へ伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 4 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：山口公民館	10 名	〔4 班〕 横 田 有 平 工 藤 小百合 北 村 進 佐々木 重 勝 崎 尾 誠
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
魚市場の水揚げがここ 4 年間 70 億円台で推移している現状で、魚市場をなぜ拡張するのか。廻来船の受け入れ体制が整っていない現状であり、冷凍庫や冷蔵庫、氷も不足しサンマ漁の最盛期には久慈や釜石から買っている。 受け入れ体制のなかで事務所も朝 6 時でないとか開かないし早く閉まる。サンマ船は 1 日 3 艘しか揚げていない現状。 仲買人はほとんど地元で、いかに安く買うかという状況であり談合しているのではないかと疑いたくなる。 冷凍・冷蔵庫も不足している。 トロール船が着くとスペースがないのでサンマ船は藤原港に回されることから、そのまま出港しあと入港してこない。水揚げは以前から比べると半分以下になっている現状。船主は 1 円でも高く買ってもらいたい。	議員の中でも拡張について心配している者もいる。 職員から魚市場が狭く拡張の要望もあり調査設計中である。 サンマについても昨年は大船渡の半分の水揚げである。水揚げをどのように増やすかである。大船渡と比較すると、被災前は同じくらいだったが、23 年度は大きく減少した。 市長を先頭に廻来船の誘致運動をもっと推進すべきと、議会としても議論している。 13 億円をかけて魚市場を拡張する。国からの補助である。魚種と水揚げを増やす施策を講じていかなければならない。 冷蔵庫は 30 数軒、合計で 2 万トンぐらいの能力。冷凍庫の能力が足りない。大船渡は「阿部長」だけでも 2 万トンの冷蔵能力がある。	
自然再生可能エネルギーの木質バイオを使ったブルーチャレンジプロジェクトは良いことだ。木材価格が低迷する中で森林が荒廃している現状で、期待していたが、すぐ申請を取り下げた。放射能物質に汚染されたしいたけのほだ木を燃やすことが条件とされていたが、納得できない。	ブルーチャレンジプロジェクトは当初は、ほだ木を燃やすことは条件になかったが、宮古市以外の内陸部で汚染されたほだ木 1 万トンを燃やすということが、後付で条件とされた。現在は別のメニューで補助金を探っている。 小山田で焼却するほだ木のうち宮古地のほだ木は全部で 2,100 トンぐらいで、そのうち 2,060 トンは山田のしいたけほだ木だ。2 年かけて少しずつ焼却していく。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
放射能に汚染された、農林業系の焼却について、小山田地区住民説明会は3回あった。小山田地区は保育所があり赤ちゃんから就学前の子どもがいる。総合体育館には多くの小中学生たちが利用している。福祉センターはお年寄りから子どもまで、さらにDORAへ多くの市民が集まる。子どもへの健康被害を心配する。国の基準より厳しくするといっても人への影響を心配する。子どもたちの健康調査を焼却中と焼却後に実施するように要望したが、報告会では協議した結果そこまでやる必要がないと説明があった。 その場で別な方からせめて1回だけでも調査をするようにと再度要望がでた。議会としても子どもたちへの健康調査をやるように進めてほしい。	低線量でも長期にわたると子どもたちに健康被害が出ると聞いている。なるべく早い時期に健康調査を実施するように市当局に伝える。 焼却中止の陳情については、経済常任委員会で協議し、安全性について市民に情報開示しながら処理することとした。 2,600 トンの椎茸、ほだ木、牧草を焼却する。灰として最終処分地で厳重に管理することとしている。
風評被害もある。知り合いから宮古のものは福島第一原発の事故以来食べられなくなったと言われる。	(意見)
震災時は山口公民館に多くの方が避難した。山口公民館は食料の備蓄がない。山口小、宮古小、第一中は避難所で食料や発電機も備えていただいたが、海拔が低く、震災時は避難路も浸水した。 震災時、宮古小などから山口公民館に移動し安心した方が多くいた。避難所は、安全で安心できる場所でなければならない。	避難所の備蓄計画を確認し、市当局に伝える。 備蓄については学校の避難所が優先され、順次備蓄される計画である。
水、食料5年分、毛布500枚の備蓄は早急にしてほしい。36カ所の避難所全てに。	市当局に伝える。
メガソーラーは送電線に費用がかかり採算の問題がある。メガソーラーの候補地3カ所について送電線があるのか。	不明である。
1,200度の高温で焼却できるドイツ製の焼却炉がある。1カ月稼働してバケツで3つぐらいの灰しか出ない高性能な焼却炉。	(意見)
水道管が古くなって錆がでてくる、発ガン性があるものもある。横町地区はひどい。	担当課に伝える。
田の神の川沿いの道路に亀裂が入っている。20センチぐらいずれている。山口道路に亀裂が入っている。県や市に伝えているが、事故がおこらないと動かない。泉橋から西町生協までの道路に亀裂がはいり通学路にもなっており危険だ。	担当課に伝える。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
給食について安全性も大事だが、味はどうか、議員も試食してみしてほしい。子どもたちもおいしくないという。PTAで試食したがおいしくなかった。	試食したこともなく、認識していない。
黒森ふれあい館と黒森神社について、北部環状線が通るにあたり水道管を入れてほしかった。水が少ないので火災が心配だ。ふれあい館まで水道がほしい。神社には水がない。 北部環状線が舗装される前に水道管を敷けば経済的でないかと考えるが、「開発の計画があれば水道をひく」と副市長や水道事業所の答えだった。できれば黒森町から第1工区、第2工区まで水道管を敷いてほしい。 今でも水をポンプアップしているが、さらに強いポンプアップが必要。	田老の神田川に橋ができれば、住宅地となると考え議会で取り上げたが、同じように「開発の計画」があれば橋をつくるという答弁だった。 したがって黒森ふれあい館や神社などについて、開発計画がないことや距離の関係もあり難しいと思う。
埋蔵文化財の調査をもっと早くできないのか。	震災後、調査員を5倍増やして対応している。
シルバー人材センターの職員の採用はどうなっているのか。	市は直接関与していない。センターの採用方針により採用していると思う。
T P Pは農業・水産業だけでない、医療の自由化などあらゆるものが、影響を受ける。	6月議会でT P P交渉反対意見書を賛成多数で採択された。
災害公営住宅を建設するにあたっては、各棟に身体障害者用の部屋もつくってほしい。	担当課に伝える。 早期のもので近内の雇用促進住宅を市が買い上げ災害公営住宅とするが、要望を伝える。
議会傍聴者が少ない、議員自らも呼びかけるなど増やす努力をするべきだ。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 3 日（月） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：グリーンピア三陸みやこ 応急仮設住宅集会所	26 名	〔5 班〕 藤 原 光 昭 須賀原 チエ子 中 里 榮 輝 宇都宮 勝 幸 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
住まいと暮らしの再建の防災集団移転促進事業で 74 億 1,734 万円とあるが、土地の買い上げと造成事業のそれぞれの坪単価は具体的に決まっているか。	詳細額について、個々の部分は分からない。高台移転に係る買い上げ単価は場所によって単価設定がされ、買い上げ希望者には市から連絡があり、どうするかは個別対応となる。	
買い取り希望の契約を結ぶ段階までに詳細を住民が分かるようにしてほしい。	（意見）	
公営住宅を借りて何年か後に自分のものになると聞いたがどうか。	木造の場合は、建築後 5 年を経過した後に、適正な価格で戸建てであれば買い取り可能だ。	
土地の買い取りについて、居住地が借地の場合はどうか。住んでいた所は自分の所有でなかった。原野に自分の土地がある。買ってもらえるか。	基本的には該当しない買い取りはできないと思う。	
議会広報特別委員会のような特別の付く委員会とは。	議会には通常、総務、教育民生、経済、建設と四つの常任委員会があるが、特別な問題や課題があるときに組織され審議するのが特別委員会だ。	
仮設住宅に街灯を付けることになっているが、人が減っても街灯は付けておくのか。	仮設住宅周辺が暗いとの要望があった。今あるものも順次 LED に取り替えていく。	
グリーンピアの街路灯 51 基分は、仮設住宅の中なのか、従来からあるグリーンピア施設の中なのか。	従来からあるグリーンピアの街路灯の更新と追加分である。	
津波資料館として、たろう観光ホテルを保存するようだが、多額の費用がかかるので、買い上げや保存の話がでてきたら反対してほしい。	担当課に伝える。	
高台移転申込時に、市街地を希望していたが、あなたの住所はこの区域のため高台と決められたが、私は平坦な市街地を希望したい。 （高台移転に係る苦情多数あり）	（意見）	
三鉄田老駅前の県道田老、有芸線の問題で納得がいく回答を得ていない。大平地区は、災害危険区域予定地に指定されるかまだ決まっていない。区画整理事業の対象外の地区で、県道がどのように整備されるか、嵩上げがされるのか、土地利用の判断がつかない。住宅以外の建物を建てようにも、明確な方針が示されなければ困る。できるだけ早くなるように努力してほしい。	県には要望しているが、未だに明快な計画が示されていないので、市単独で事業整備することはできない状況にある。担当課に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
国道 45 号の位置を変えるという計画があるらしいが、最初に国が言い出したのか。市が持ちかけた話なのか。市としてきちんとした考え方で進めないといけないと思うがどうなのか。	市から出たことと思う。防潮堤の乗り越しの関係もあり、取り付けの距離が必要なためとは聞いている。
被災しているが、計画では土地区画整理事業区域外の区域に住んでいる。土地は買い取り対象になるのか。	被災地域であれば買い取りの対象になると思うが、担当課を確認し後日回答したい。
今後、どのような住宅が建つか分からないが、太陽光発電なども積極的に利用するよう考えてほしい。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 25 年 6 月 4 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：川井保健センター	13 名	〔5 班〕 藤 原 光 昭 須賀原 チエ子 中 里 榮 輝 宇都宮 勝 幸 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
ブルーチャレンジとはなにか。	スマートコミュニティ事業は、市が中心となり進めていくもの。また、ブルーチャレンジはあくまでも企業が中心となり進めていくプロジェクトである。バイオマス資源を活用し、電気、熱、燃料（水素エネルギー）を生産する木質バイオマス施設（ブルータワー）だ。 産業振興や雇用の創出、対災害性の向上を目指すものだ。具体的には、電気は売電し、熱は農業用園芸施設の暖房に、水素は電池自動車の燃料に活用する。	
植物工場の内容は。	付加価値の高いパプリカの生産販売。人材育成や雇用の場ともなる。	
小国地域の課題について理解してほしい。立丸峠のトンネル付近に休憩施設を造りたいということで、地元の意見をまとめ活動計画づくりを進めている。 学校を活用すべきであると思う。光ファイバーも引いており、宮古市全体としても学校の跡地利用は大きな問題であろう。学校の閉校に伴って教員住宅を物づくり研修の場所として提供してほしい。教員住宅を若者の住宅に活用するなどしてはいかがか。 山の方の国定公園内のタイマグラにも目を向けてほしい。施設の指定管理もしている。もう少し使い勝手のいい方法はないか。 大規模林道は 5 月 22 日開通なので、ゴールデンウィークには通れるよう環境づくりに理解をいただきたい。	市当局に伝える。	
閉伊川、刈屋川の支障木の伐採を進めるに当たり、川の見える景観を保つために関係機関と協議を進めて欲しい。花原市の閉伊川の伐採方法はだめだ。クルミの木等の伐採は大きい木を残しながらバランスの取れた景観を残し、支障木の伐採方法をすべきである。	市当局に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
川井分校は川井キャンプに活用され財産管理してきた。教育委員会は、教育財産。トータルで大きく地域のためと考えていただきたい。	今後も地域振興を考え、皆さんの声を、機会を捉えて、提言などをしていただきたい。
政務調査費の額と執行率は。	政務調査費は年間 15 万円だが、執行率は分からない。
国道 106 号をフラワーロードとしてはどうか。	(意見)
川井地区はコミュニティFMが聞こえるか。	8 月 26 日にコミュニティFMが開局する。テレビを通じて新しいチャンネルでラジオは聞こえるようになる。